

# 教点連ニュース 第1号 No.5

平成20年4月10日

## ・総会、セミナーの日程

平成20年度の総会及び第1回セミナーの日程が決まりました。皆様、ぜひ参加されますようお願いいたします。この日程でご準備ください。

総会日時：6月28日（土）午前11時～正午

第1回セミナー：6月28日午後1時～4時30分

場所：（社福）日本点字図書館3階多目的室

内容：詳細につきましては4月下旬に、申込書等を添えてご案内いたします。

## ・事務所の住所変更登記が完了しました

1月東京都から承認を受け、2月に法務局新宿出張所に登記が完了しました。郵便局への住所変更届も受諾されましたので、振込等は今後、直接事務所に届くようになります。

## ・会費納入のお願い

同封の振替用紙で会費をご納入ください。なお、昨年度に1万円振込んでいただいていたボランティアグループには、総会で会費が年間5千円になりましたので、今年度は請求いたしませんのでご了承ください。お知り合いのボランティアグループや施設で、まだ会員になっていない所がございましたらぜひ入会をご勧誘ください。

## ・教点連が「点字拠点」になりました

教科書協会のお計らいで、教点連が教科書原本の取扱い拠点になりました。これまでの供給拠点としては、東日本拠点、神奈川拠点、西日本拠点の3拠点から原本が届いていたと思いますが、新たに「点字拠点」として教点連が加わりました。すでにいくつかの施設、グループが当拠点を通して原本を手に入れています。会員の皆様も今後、原本を調達するときは、教科書協会に直接、点訳用なので「点字拠点」を通すようにお申込みください。教点連は取扱い手数料をいただきません。しかし、教科書出版社からの請求書も同時にお送りしますので、原本代は直接出版社にお支払いいただきますようお願いいたします。

現在のところ、教科書原本は私どもの事務所に送られてきますが、協会には出版社から直接グループ、施設に送付してほしいむね頼んでいます。いずれそうなるかもしれませんが、ご承知おきください。

- ・『英語点訳ガイド』を無償で提供

筑波技術大学障害者高等教育研究支援センターが、英文の点訳法を習得するのに便利な『英語点訳ガイドー Textbook Written by Braille Transcribers ー』（小林雅子・石井薫共著、同大監修、A4版、158ページ）を、文部科学省特別教育研究経費により発行しました。二人のベテラン点訳者が豊富な経験に基づいて書き下ろした一書です。充実した英単語点訳辞書も添えられており、英語教科書の点訳で苦勞されている皆様の役に立つものと思われます。提供を希望される方は、同大視覚障害系技術係（ファックス029-858-9587）へ、点訳グループ名と送付先を明記してお申し込みください。ただし、当面、一つのグループや施設に1冊の提供に限定させていただきます。

- ・文科省大臣に要望書提出

2月29日、渡海紀三朗文部科学大臣に以下のような要望書を提出しました。

（前略） 憲法が定める教育を受ける権利を平等に保障するためにも、また、教育基本法が義務付ける障害児への支援を行う上でも、1日も早い視覚障害児童・生徒への点字教科書の確実な供給が望まれます。

私どもが調査しましたところ、全国に約45人の視覚障害児童・生徒が一般小・中学校で学び、しかも点字教科書を必要とする実態が明らかになりました。しかし、この調査は私どもが把握できる範囲に限られており、文科省による正式な全国調査が必要であることは申しあげるまでもございません。（後略）

以上のような観点に基づき、以下を要望いたします。よろしくご配慮くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 文部科学省による全国の一般学校で学ぶ児童・生徒のうち、点字教科書を必要とする者の実態調査を要望する。
2. 点字教科書作成のための教科書デジタルデータの早期提供、並びに独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の「視覚障害教育情報ネットワーク」を利用した当法人加盟施設団体へのデジタルデータ提供を要望する。
3. 盲学校用教科書は盲学校生徒用に編集されているので、一般校で学ぶ児童・生徒には不適當である。したがって、たとえ盲学校用著作教科書等の編集依拠本と同一の教科書であっても、点訳教科書として認め、新たに点訳することができるように要望する。
4. 点訳教科書製作費として、点字1ページあたり600円を保障することを要望する。

- ・公明党との話し合い

4月2日午後2時30分から、衆議院第2議員会館で、公明党の福島豊議員、富田茂之議員と面談しました。筑波視覚特別支援学校の宇野先生が、民主党が参議院に提

案した「教科書バリアフリー法」案の行先に不安を感じて、与党にも理解をしてほしいということで、当会の岩井副理事長に紹会を依頼しましたところ、岩井さんが大阪6区の福島議員を紹介してくれました。

富田議員は衆議院公明党文部科学部会長ですが、福島議員が専門外ということで、同伴を要請され出席してくれました。約30分話し合いましたが、話し合いははかばかしくありませんでした。

富田議員は、財務省が理解して予算をつけなければどうにもならないこと、ただでさえ、財務省は教科書を有料にしろという強い意向をもっていることなどを説明してくれました。そして、拡大・点字教科書を義務づけるなら財政をどうするかを考えないと実現性はない、ということでした。

#### ・再び渡海文科大臣に要望書提出

3月に入って渡海大臣から各教科書出版社に対し要請文が発送されました。それに対し、教点連としては、3月24日付けで、大臣あての抗議文を郵送しました。以下はその要点です。

(前略) 平成20年3月18日付けで、渡海文部科学大臣から教科書出版社に対し、拡大教科書を自主的に製作すること及び製作用デジタルデータを提供することについての要望書が発送されました。また、その件につき検討会議を開催する旨の通知がありました。ところが、その中に点字教科書についての記述が一言もございません。点字教科書を製作する私どもにもデジタルデータを提供する義務が教科書出版社にあると思いますので、当然私どもも点字教科書製作についての検討会議が必要と考えます。

(中略) 私どもの実状をご推察の上、デジタルデータの提供及び点字教科書製作・供給に関する検討会議を是非実現させて頂きたく、重ねてお願い申し上げます。この件につき、何かとお忙しいことと思いますが、ご返事を頂きたく切にお願い申し上げます。

\* この要望書に対する解答は、現在まだありません。

発行日：平成20年4月10日

発行所：NPO 法人全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

発行人：田中徹二

連絡先：(社福) 日本点字図書館 担当：田中・松本

〒169-8586 新宿区高田馬場1-23-4

Tel：(03)3209-0241 Fax：(03)3204-5641

E-mail：[matsumotom@nittento.or.jp](mailto:matsumotom@nittento.or.jp)

振込口座番号：0180-7-262151